

令和2年度 第1回市川市介護保険地域運営委員会 会議録

1. 開催日時：令和2年8月26日（水） 14時30分～15時40分

2. 開催場所：全日警ホール（市川市八幡市民会館）2階 第3会議室の2

3. 出席者

【委員】

副委員長 高木委員

委員 新井委員、淡路委員、市川委員、大野委員、佐藤委員、田島委員、  
吉田委員

(欠席者2名)

【事務局】

福祉政策課 高橋課長、介護福祉課 菊池課長ほか

4. 議題

- (1) 地域包括支援センターの事業報告について（報告）
- (2) 地域包括支援センターの運営評価報告について（報告）
- (3) 介護予防支援事業等業務の委託事業者の追加について（報告）
- (4) 地域密着型サービスの公募について（報告）
- (5) 介護給付適正化事業について（報告）
- (6) 市川市の介護保険事業の特徴について（報告）
- (7) 地域密着型サービス事業者の指定及び指定更新について（報告）

《配布資料》

- ・資料1 令和元年度地域包括支援センターの事業報告について
- ・資料2-1 令和元年度分地域包括支援センター運営評価の結果
- ・資料2-2 地域包括支援センターの評価指標
- ・資料2-3 令和元年度地域包括支援センター運営評価結果一覧
- ・資料2-4 令和元年度 市川市高齢者サポートセンター満足度調査結果
- ・資料3 介護予防支援事業等業務の委託事業者の追加について
- ・資料4 地域密着型サービスの公募について
- ・資料5 令和元年度 介護給付適正化事業について（報告）
- ・議題6説明概要 市川市の介護保険事業の特徴についての説明概要
- ・資料6 市川市の介護保険事業の特徴
- ・資料7 地域密着型サービス事業者の指定及び指定更新について
- ・当日配布資料1 令和2年度 市川市介護保険地域運営委員会開催予定表

項 目	内 容
	<p>(1) 地域包括支援センターの事業報告について (報告)</p>
高木副委員長	<p>それでは議題 (1)「地域包括支援センターの事業報告について (報告)」です。介護福祉課より説明をお願いします。</p>
介護福祉課	<p>(資料1に基づいて説明)</p>
高木副委員長	<p>ただいま、介護福祉課長より説明がありました。このことについて、何かご質問やご意見がありましたら、お願いします。</p>
田島委員	<p>資料1の11ページ「7. 地域ケア会議推進事業」についてですが、平成29年度が40件、平成30年度が44件、令和元年が39件ということですが、これはなにか意図的な意味があるのでしょうか。</p>
介護福祉課	<p>新型コロナウイルス感染症の関係で、2月、3月と集まることが出来なかったため、今年度は件数が減っております。</p>
高木委員	<p>新型コロナウイルス感染症の影響は、その2か月分だけということでしょうか。</p>
介護福祉課	<p>そうです。</p>
佐藤委員	<p>資料1の9ページ(2)「介護支援専門員に対する個別指導および相談実績」が増えていて、とても良いことだとは思いますが、増えたことによって、現実的に対応や状況を見て、こういうことが新しく相談に寄せられるようになったなどの、気付いた点はありますか。</p>
介護福祉課	<p>高齢者サポートセンターは、介護予防ケアマネジメントや指定の介護予防支援事業のケアプランを立てないといけないのですが、予防の計画はなかなか受けてくださるケアマネジャーがいらっしゃいません。こういったところで、ケアマネジャーと顔見知りになると快く受けてくれるようになったとは聞いています</p> <p>また、困難事例に関しても、連携がうまく取れるようになったということも聞いています。</p>
大野委員	<p>資料1の3ページの相談件数について、平成29年度から令和元年度まで年々増えていますが、注目したいのが成年後見制度で、平成29年度1840件から元年度2876件とダントツで増えているなと思いました。併せ</p>

大野委員	<p>て、5 ページ「センター別 内容別相談件数」を見ると、八幡は虐待等権利擁護と成年後見制度の件数がダントツ多いと見ておりまして、これはやはり地域性のものなのではないでしょうか。あとは、地域によって人口も違うのかなと思うのですが、ここの地区は大変なのかなと数字だけ見て感じます。</p>
介護福祉課	<p>地域性とかケースの多い少ないなどといったこともありますが、高齢者サポートセンターには社会福祉士もおりまして、主に社会福祉士が対応しているのですが、その社会福祉士が何を得意とするかということにもよるかと思います。こちらの八幡の社会福祉士は、かなり得意としている分野で、色々と活動していただいておりますので相談件数も多いと聞いています。</p>
新井委員	<p>資料 1 の 11 ページの認知症カフェについて、今年は新型コロナウイルス感染症の影響でかなり開催も出来ていないということがありますが、来年度もこのまま続くと前の様に開催することはかなり難しいと思うが、それに代わる対策は何か考えていらっしゃいますか。</p>
介護福祉課	<p>認知症カフェだけでなく家族介護教室や交流会もかなり開催が難しいということでしたが、今は感染防止の対策を取りながら、来所者数を限定して、少しずつ開催をしています。来所者は多くはなりませんけれども、今後も工夫をしながらやっていこうと思います。</p>
新井委員	<p>今までにない大変なことだと思うので、みなさん頑張って下さい。</p>
大野委員	<p>11 ページの「家族介護教室」と「介護者相互の交流会」について、やはり参加人数が年々下がっているかなと思っております。ケアマネジャーをやっていてよく感じるのは、介護者がいないお宅が増えているかなと思っておりまして、家族介護教室の案内が来ても周知できるお宅がないのかなと思っています。そう考えると、この開催回数も徐々に減っていくのか、それとも決められた回数があって、新型コロナウイルス感染症の影響もあるので良いとは思いますが、少人数でも開催していくのかなと。何年後かに無くなっているのかなと感じていました。</p>
介護福祉課	<p>開催回数は減らさない方向です。なかなか出席できない方が多いので、減らしてしまうともっと出席が出来ないということと、今は介護をしていないですが、近い将来に介護をするかもしれないという方もいらっしゃるのでは、そういう方の為に門戸は広げておこうと思っています。</p>

大野委員	やはり不景気ですので、家族も介護者も働いている方が多いと思うのです。継続するのであれば、土日とかお休みのある時期にも1回くらい開催されると良いかなと思いました。
介護福祉課	検討させていただきます。
高木副委員長	<p>今年度においては新型コロナウイルス感染症ということで、例年と違う報告になるのかなと思いますが、いつ収まるか分からない感染症ですけども、それでも開催していただくということで、大変かと思いますが続けていってほしいと思います。</p> <p style="text-align: center;"><b>(2) 地域包括支援センターの運営評価報告について (報告)</b></p> <p>それでは議題(2)「地域包括支援センターの運営評価報告について(報告)」です。介護福祉課より、説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><b>(資料2-1から資料2-4に基づいて説明)</b></p>
高木副委員長	ただいま、介護福祉課より説明がありました。このことについて、何かご質問やご意見がありましたら、お願いします。
佐藤委員	資料2-4について、介護支援専門員を対象に調査を実施するというところで、先ほど説明があったように、調査項目2「適切な相談支援」が比較的満足度が低いとなっております。先ほどの資料1のところでも質問しましたが、いわゆる包括的、継続的な相談支援の方も件数が増えています。介護支援専門員に対する個別指導および相談実績が2年間で倍近くになっている中で、適切な相談支援の満足度が高まっていくと良いのですが、残念ながら、逆に低くなっているということで、何故なのかという理由が見えないです。
介護福祉課	数だけが増えて質が伴わないというのは本当に問題になってしまっていますが、回答数が少なかったということも1つあるかなと思います。次年度はもう少し多くの方にご回答いただきたいということと、それから、資質の向上に努めるということになってしまいかと思います。
佐藤委員	先ほどのPDCAのアクションに繋がられるような形で、なにか次年度のところを繋がられるようにご検討いただければと思いました。
大野委員	介護支援専門員をしておりますので、頑張ってこのアンケート書かせていただきました。「244票(複数回答)」とあるので、複数でなければ介護

大野委員	<p>支援専門協議会のケアマネジャーの幽霊部員もいて、ほぼ同じくらいの人 数かなと思っております。なので、回答数が少なかったということは、出 してないケアマネジャーも数多くいらっしやったのかなと思います。</p> <p>アンケートを見ていただくと、「3・4・5の場合は理由を記入」という ように、理由を書かなければいけないアンケートでしたので、私は結構書 きました。でも、今日の結果を見ると点数式だったので、その似たような ことで困っているケアマネジャーの意見も、できれば知りたいなと思っ てきました。このアンケート結果は、この委員会があるのでこの後に包括の 皆さんも結果を知るのかなと思うのですが、やはり何を書かれていたの で、どういうところが良かったのか、それともどういうところを直してい かなければいけないのかというように活かしていただく形にしてい ただければと思います。</p>
介護福祉課	<p>業務に活かせるように理由をたくさん書いていただいたので、まとめ まして、ケアマネジャーの研修等に活かしていきたいと思 います。</p> <p style="text-align: center;"><b>(3) 介護予防支援事業等業務の委託事業者の追加について (報告)</b></p>
高木副委員長	<p>それでは、議題(3)「介護予防支援事業等業務の委託事業者の追加に ついて(報告)」です。</p> <p>介護福祉課より、説明をお願いします。</p>
介護福祉課	<p style="text-align: center;"><b>(資料3に基づいて説明)</b></p>
高木副委員長	<p>ただいま、介護福祉課より説明がありました。このことについて、何 かご質問やご意見がありましたら、お願いします。</p> <p style="text-align: center;">(質問・指摘なし)</p> <p style="text-align: center;"><b>(4) 地域密着型サービスの公募について (報告)</b></p>
高木副委員長	<p>それでは議題(4)「地域密着型サービスの公募について(報告)」で す。福祉政策課より、説明をお願いします。</p>
福祉政策課	<p style="text-align: center;"><b>(資料4に基づいて説明)</b></p>
高木副委員長	<p>ただいま、福祉政策課より説明がありました。このことについて、何 かご質問やご意見がありましたら、お願いします。</p>

佐藤委員	<p>募集方法にも関わってくる話で、ここ何年も募集については苦勞をされているようなのですが、たまたまかもしれないですが、今回応募があって、実際に決まったところは全て株式会社です。そうすると、一般的な社会福祉法人等はあまり参入してこなくて、むしろ株式会社の方が入ってこようとしているのかどうかというところで、何か分析などはなさいましたか。</p>
福祉政策課	<p>正直、私どもでは正確な分析までには至っておりません。公募の結果、株式会社が多いという状況は把握しております。サービス内容を見ても、介護報酬云々という話ではないところで、実は職員の募集が難しいのかもしれないし、もしかしたら、お声の掛け方が株式会社のネットワークを使った方がやりやすいところがあったりするのではないかと感じています。ただ、細かな分析までには至っておりませんので、色々なところから募集をいただけるように、様々な会議で務めておりますので、何か対策が打てれば良いなと考えているところです。</p>
大野委員	<p>定期巡回ですと、いま市川で決まったところが行徳地域ということで、元々そちらが何年か前に無くなってしまったので、この地域で募集しますという形で募集を出されているということではないのでしょうか。たまたまですか。</p>
福祉政策課	<p>たまたまです。</p>
大野委員	<p>資料4の(3)①の定期巡回についても、1か所を再公募して応募なしということは、これも場所を限らずどうですかという形で応募するということですね。</p>
福祉政策課	<p>ご指摘いただいた通りです。ピンポイントで募集する手法もありますが、手が上がらないことを想定してしまいますので、まずはどこでも良いですよというように募集をかけています。もしかしたら、それが裏目に出ているかもしれないのですが、それについてはもう少しこの事業が進んだ時に、ここに手を挙げてくださった事業者から聞いたりすれば何か見えてくるのではと思っています。</p>
大野委員	<p>現在ある定期巡回でしたら江戸川のこちら側に2カ所あると思うのですが、手を挙げて被った場所があれば、事業所の場所が変わっても巡回する地域は変えるということになるのか、それとも、被っているので公募はしたけど取り下げといったことになるのでしょうか。</p>
福祉政策課	<p>公募の際には、このサービスがどういう分布で位置付いているのかということは資料としてお示しているのですが、それを見てこの地域でこれをやる</p>

	<p>うということで、事業者や法人は手を挙げてくださっているという状況になります。</p> <p style="text-align: center;"><b>(5) 介護給付適正化事業について (報告)</b></p>
高木副委員長	<p>それでは、議題(5)「介護給付適正化事業について(報告)」、介護福祉課より説明をお願いします。</p>
介護福祉課	<p><b>(資料5に基づいて説明)</b></p>
高木副委員長	<p>ただいま、介護福祉課より説明がありました。このことについて、何かご質問やご意見がありましたら、お願いします。</p>
市川委員	<p>初歩的な問題で申し訳ないのですが、認定調査員というのはどうかたちでお願いするのでしょうか。</p>
介護福祉課	<p>新規と更新に分けられています。新規申請の方は、介護福祉課の非常勤専門員が訪問に行っておりまして、更新の方は地域の介護支援専門員に依頼をしております。両方とも、認定調査の研修を受けた方が調査員になっております。</p>
	<p><b>(6) 市川市の介護保険事業の特徴について (報告)</b></p>
高木副委員長	<p>それでは、議題(6)「市川市の介護保険事業の特徴について(報告)」福祉政策課より説明をお願いします。</p>
	<p><b>(議題6説明概要、資料6に基づいて説明)</b></p>
高木副委員長	<p>ただいま、福祉政策課より説明がありました。このことについて、何かご質問やご意見がありましたら、お願いします。</p>
佐藤委員	<p>現状がこうなっているということで、市川市全体については分かるのですが、地域ごとに何か特徴を見るなど、全体では高齢化率が低いけどここでは高齢化率が高いなどといったところを把握しておく、これからの介護保険事業を考えるのに役立つのではないかと思います。</p>
福祉政策課	<p>貴重なご意見ありがとうございます。ちょうど今、次期高齢者計画の策定の切替わりの時期でございます。地域ごとの高齢化率などはやはり大きなテーマになってきますので、推計までは難しいですが、地区ごとの高齢</p>

福祉政策課	<p>化の特徴ですとか、こういったものについては明らかにして次の計画でもテーマにしたいと考えています。</p> <p><b>(7) 地域密着型サービス事業者の指定及び指定更新について (報告)</b></p>
高木副委員長	<p>それでは、議題(7)「地域密着型サービス事業者の指定及び指定更新について (報告)」福祉政策課より説明をお願いします。</p> <p><b>(非公開のため省略)</b></p>
高木副委員長	<p>以上で本日の議題は、すべて終了いたしました。</p> <p>それでは、令和2年度第1回介護保険地域運営委員会を終了します。</p> <p><b>(事務局より今後の予定等についての連絡)</b></p>

市川市介護保険地域運営委員会  
委員長 伊藤 勝仁